加賀立国千二百年

特集

平安時代の栄華 古代ロマンへ思いをはせて

平安時代、国府エリアは加賀国の中心地だったことをご存知ですか？加賀国誕生に始まる古代ロマン。平安絵巻に彩られた世界を、さぁ皆さんで体感しましょう！

問い合わせ　埋蔵文化財センター　☎47・5713

今年は加賀立国1200年

平安時代前期の西暦823年、越前国から加賀郡と江沼郡が独立し、古代加賀国が誕生します。律令時代最後に誕生した国で、令和5年には国の誕生から1200年目の節目を迎えます。

教えて！「加賀国」って何？

古代の加賀国は、現在のかほく市と津幡町の大海川（おおみがわ）以南から加賀市までの、7市3町にまたがる地域でした。明治時代に県政が施行されるまで、この地域は加賀国と呼ばれます。

加賀国の中心地「国府」は小松の国府エリアにあった！

加賀国の国府は「能美郡」に置かれたこと、国庁の近くに涌泉寺（ゆうせんじ）があったことが文献に記されており、旧国府（こ）村のあった古府台地に加賀国府が置かれていたと考えられます。

この台地周辺からはたくさんの平安時代の土器とともに、加賀国分寺を飾ったと思われる軒先瓦（表紙参照）が出土しています。

教えて！「国府」って何？

古代の国には、国を治める役所として国府が置かれました。中央政府から派遣された役人が政治を行う「国庁」をはじめ、仏教で国の安泰を願う「国分寺」、国の神々を集めた「総社」が置かれ、政治・経済・文化・信仰の中心地として栄えました。

発見が続く国府関連の調査

国府があったとされる古府台地は、古くからの農地開拓で地形が変わっています。しかし、国の総社「府南社（ふなんしゃ）」とされる石部（いそべ）神社境内は昔の地形が残っており、発掘調査で平安時代末期の特殊な礫敷遺構（れきじきいこう）（写真①）などが発見されました。また、台地の南に隣接する古府シマ遺跡の調査では、同時代の銅製分銅（写真②）のほか、多数の土器や建物跡が発見され、大きな注目を集めました。

①礫敷遺構　石や土器片が丁寧に敷き詰めてある

②銅製分銅
（石川県埋蔵文化財センター提供）

国府誕生が小松を歴史物語の舞台に

小松に国府が置かれ政治・経済・文化の中心となったことで、様々な歴史物語が誕生しました。平清盛の寵愛（ちょうあい）を受けた白拍子（しらびょうし）・仏御前の物語をはじめ、加賀の白山信仰勢力と加賀国司とが対立した涌泉寺事件、木曽義仲に対峙した斎藤別当実盛の武勇伝、安宅の関の勧進帳の物語など、小松を舞台にした物語が能や歌舞伎として現代に語り継がれています。

わくわく！

加賀国府の歴史をもっと体感できる、新たな学びの施設が順次完成！

加賀国府推定地を一望できる河田山（やま）古墳群史跡資料館と古墳公園は、古墳の調査成果を紹介する施設として平成4年に開館しました。加賀立国1200年を機に、弥生時代から加賀国府誕生、そして源平争乱の時代までの歴史物語を学ぶ拠点として、リニューアル工事を行っています。

また、梯川の水運と白山景観、国府所在地を体感できる歴史公園を、石部神社及び周辺に整備します。

河田山と府南山（ふなんやま）の国府エリア、そして安宅までを広域で結ぶ歴史回廊づくりを今後も進めていきます。

10月には石部神社に隣接して（仮称）府南山歴史公園が完成予定！

▶境内遺跡の埋蔵文化財調査

▶石部神社

CHECK！

アニバーサリーイヤーはお祝い企画が盛りだくさん！

春から秋にかけて、様々な関連企画が目白押し！詳細は開催日時が近づいた頃にお知らせします。

3月　加賀国府BOOK刊行
イラストや写真で分かりやすく解説した、加賀国府の公式ガイドブック

7月　河田山古墳群史跡資料館リニューアルオープン
開館記念のオープニングイベントや、記念展の開催を予定

9月頃　加賀立国1200年記念PRイベント
加賀立国1200年を広く市民へ発信するイベントを予定

10月　（仮称）府南山歴史公園完成
完成を祝うイベントを開催予定

10月14日～11月26日　特別展「加賀国府誕生の地を探る」
関連企画として加賀国府ゆかりの地ウォークラリーの開催

10月21日・22日　全国国府サミットin小松
全国の国府所在地首長が交流するほか、古代加賀国と国府の魅力を発信